



第2学年通信 (第7号) その1

令和2年3月19日発行
福岡県立久留米高等学校
校長：木本 和宏
第2学年主任：中尾 朋浩

【2学年団挨拶】

新型コロナウイルスの関係で臨時休業に入りましたが、皆さんは規則正しい生活を送り、計画的に学習を進められていますか？

今回の学年通信が今年度の最終号です。各先生方のメッセージや、コース別の説明、課外授業のことなどしっかり読んで、心身ともに3年生への準備を整えておきましょう。

2年1組担任：千倉 美和（英語）

この1年間、「挑戦！」というクラススローガンのもと、学校の内外で活躍する皆の姿をたくさん見てきました。目立つところだけでなく日々の地道な努力を積み重ねることで、皆の根っこは広く深く成長しているはず。来年度はいよいよ最高学年。しっかりと養分や水分を吸収できる根っこを土台として、さらに枝葉を広げ、大きく飛躍する1年にしたいですね。

2年1組副担任：西峯 礼子（英語）

皆さんの学校生活と同様、私のこの1年間もとても充実していて、楽しかったです。これは、一つ一つの行事や授業を誠実に過ごす皆さんの姿が、学校全体に良い影響を与えているからだと思います。久留米高校での最後の1年も、この調子で走り抜けていこう！ Good luck！

2年2組担任：中尾 朋浩（英語）

行事が多い1年間でしたが、それぞれの体験を通じて成長できましたか？高校生活の3分の2が終了しました。いよいよ最も大切で、最も成長できる最後の3分の1が始まります！4月からの1年間でさらに飛躍していく君たちを見届けたいと思います。

2年2組副担任：佐藤 洋平（数学）

皆さん今年度も「燃焼」できましたか？何かに熱中することはなかなかできることでは有りません。3年生ではこれまでの培ってきた力を存分に発揮し、体育祭の成功そして自分自身の進路達成に向けて全力で走り抜けてください。

2年3組担任：陣内 貴文（数学）

人と人との出会いには必ず意味があると思っています。この1年間、学年およびクラスの皆さんどうもありがとうございました。私自身もたくさんのことを学び、共に成長できたと思っています。次年度はいよいよ受験生となりますね。私が好きな言葉に「努力」、嫌いな言葉に「妥協」というものがあります。限界を自分で決めず、最後まで覚悟を持って意志を貫いて下さい。応援しています！勇往邁進！！

2年3組副担任：島塚 富希（保健体育）

この1年、どのような1年になったでしょうか。やり残したことはありませんか？高校生活も、残り1年となりました。後悔しても、高校生活というものは2度とやり直せません。高校生最後の1年間、高校生活の集大成です。全てをかけて、毎日を全力で過ごしてください。皆さんなら、やれます。1年間、本当にありがとうございました。

2年4組担任：永尾 健太（理科）

あつという間の一年でしたが、なにが残りましたか？振り返りは次回のためにおこなうもの！大変だったことも、後悔もすべて三年生での糧です。次年度の皆の頑張りは学校の活気に直結します。まずは体育祭と勉強としっかり両立して充実した一学期を。

2年4組副担任：村上 冴香（国語）

今年は行事に追われた1年でしたね。みなさんはどのようなことに挑戦し、どのようなことを学びましたか？今年の成功や失敗が糧となり来年に、そしてその先へとつながっています。今後のみなさんのさらなる活躍を期待しています。1年間ありがとうございました。

2年5組担任：向家 拓郎（数学）

「1ダホー」な1年間にできましたか？もう3年生です。今までの自分から「もう1頂！」成長していく皆さんに期待します。勉強に部活動に体育祭に向けて全力で「奪Sh！」し続けてください。そして「s15」な1年間になるように、「サア、イコー！」

2年5組副担任：穴見 陽一（地歴）

春から新3年生となる皆さんに期待して、ホイットマンの『草の葉』の一節「寒さにふるえた者ほど太陽の暖かさを感じる」を贈りたいと思います。

2年5組副担任：畠山 里央（英語）

1年間本当にありがとうございました。わたしにとって、みんなが初めての生徒ということで、とても緊張していましたが、授業や学年行事に関わっていく内に、みんなのことをたくさん知ることができ、とても楽しい日々を過ごすことができました。休みの間に力をいっぱい蓄え、3年生ではその力を爆発させましょう。

2年6組担任：彌永 朋美（理科）

引き続き今年も楽しかったです。ありがとうございました。皆さんは身の周りにある大小さまざまなことに気づき、自分から動くことができる人です。来年はとうとう3年生。良い目・良い耳をもって、怖がらず前のめりでアクションを起こしてください。そうすれば、きっとその先に道は続いていますよ。

2年6組副担任：畑瀬 皓貴（国語）

長いようで短い1年間でした。いま皆さんのいない学校でこれを書いていると、なんだか寂しくて、いかに皆さんの存在が大きいかを実感します。この1年間でとても成長した皆さんが、これからいったいどんな姿を見せてくれるのか、楽しみで仕方ありません。3年生は今までで一番大変な1年間になるでしょうが、ぜひとも飛躍の年にしてほしいと思います。



裏面に続く

『守・破・離の離』

2 学年所属 : 上野 正彦 (保健体育)

1 年次より「守・破・離」のことを伝えてきた。「守」は基礎基本を徹底的に学び習得する時期のことで1年次にあたる。「破」はその基礎基本を応用してそれを破っていく時期で2年次にあたる。「離」はそこから全く違う発想で自分の色を出す時期で3年次と言われている。しかし、時間の流れが「守・破・離」と自動的に変化して行く訳ではない。自分がどこの段階にいるかは知る必要があると思うが、久留米高校のスタイルを自分の基礎基本の柱として、これからの1年間は自分の色を最大限に発揮できるものとして欲しいと願っている。2年間共に学んでいく中で皆の素直さ、さわやかな挨拶や物事に向かう姿勢の素晴らしさ、最後まで諦めず挑む姿そして、友人を思い遣る温かさとはとてもエネルギーを貰えるものでした。持久走の授業をすると、その集団の中の一人ひとりの思いを感じることができます。そして集団のパワーも。自分に負けないぞ!と必死に頑張っている姿勢はとて心地良かった。

皆は人として成長し伸びる素養が沢山あると思う。人間性の成長なしにすべてにおいての成長はないと思っています。これからは自分の意志で目標の「自分」となる努力を甘えずにしてください。持久走は辛くて嫌だと言いつつも、逃げずに向かっていったあの気力で!充実したこれからの1年を期待しています。

「これから」を生きていくために

2年6組副担任 : 畑瀬 皓貴 (国語)



新型コロナウイルスについての話題で世間は持ち切りだ。この影響を全く受けず過ごす日本人はごく僅かであろう。皆無かもしれない。そして我々もまた、罹患の有無を問わずこの新たな感染症の影響を受けた。この度の全国の休校により、予定されていた式典や授業の大幅な変更が余儀なくされ、行き帰りの電車には学生だけがいなくなった。どこか不気味なこの風景が徐々に日常になりつつある。これは恐ろしいことだ。この新型コロナウイルスというのは、若い世代は感染、発症しても重篤化しづらく、死に至る確率は低いそうだ。しかし我々には家族がいて、無自覚に媒介してしまう可能性がある。今回の措置は恐らくそういった危惧もあってのことだろう。前置きが長くなってしまったが、私が言いたいことは、この話題そしてこの話題に関する情報が世の中に溢れかえっているのをいいことに、様々な根拠のない憶測やデマが飛び交っているのを、そんな情報に皆さんが踊らされてほしくない、踊らずに済む方法を模索しよう、ということである。

新型コロナウイルスが話題に上がり始めた頃、インターネットには「36℃で死滅するので白湯を飲めばいい」なんて話があった。喉を潤し、体温を維持するのは健康にいいだろう。だがそれでいいならこんなに感染は拡大していない。しかしこれを真に受けてしまう人がいる。他にも、「マスクと同じ原料のトイレトペーパーやティッシュペーパーが品薄になる」というデマに踊らされた人々により、買占めが起り、一時お店の棚から紙製品が消え、本当に必要な人が困る事態となった。この情報の海を溺れずに泳ぎきるために必要なものは?私は「リテラシー」であると考え。リテラシーとは、情報を適切に理解、分析することを指す。「本当にそうなの?なんで?」という姿勢を常に持ち、冷静に、信頼できる情報を選び取っていく。本当にマスクは紙でできているのか、紙製品は原料を外国に依存しているのか。情報にいつでも手が届く環境にいるからこそ、掴んだその情報が果たして正しいものかどうか、確かめる習慣をつけてほしい。真實を見分ける目は一朝一夕では身に付かないだろう。だからこそ、日々の生活で、学校の授業で、少しずつこの能力を身に付けてほしい。

【 マラソン大会 】

2月3日にマラソン大会が行われました。練習の成果を発揮し、一人一人が自己ベストを目指して頑張りました。以下クラス成績と個人成績です。2年生の活躍が光りました!!

総合の部 1位 2年1組 2位 2年6組 3位 2年2組



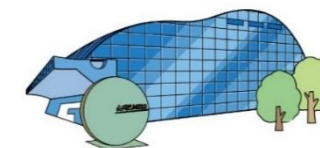
男子の部(8.0km)			女子の部(6.0km)		
1位	1年2組	仲里 拓真	1位	2年1組	倉富 汐里
2位	2年6組	内田 皓	2位	2年2組	安元 歩美
3位	2年2組	田中 祐人	3位	2年4組	西村 友季
4位	2年1組	山口 幸輝	4位	2年1組	山崎 藍梨
5位	2年5組	阿具根 大空	5位	2年2組	村上 知歌子
6位	2年4組	小野 壮大	6位	2年6組	吉田 有里
7位	1年2組	栗秋 恩至	7位	2年2組	田中 美奈
8位	2年6組	古賀 舜士	8位	2年6組	福永 涼華
9位	2年4組	岡村 翔	9位	1年2組	田中 灯莉
10位	1年3組	野見山 恭輔	10位	2年2組	徳淵 花音



【 生徒の活動 】

❖ インターンシップ (2年2組 津留崎七虹さん)

「冬休みの間に3日間、九州国立博物館へインターンシップに行きました。3日間を通して、文化財の保護、博物館の活性化の方法などを学びました。さらに、学芸員の方のお仕事や、博物館にいらっしゃる方々への接客も体験させていただきました。また、最終日には、子供たちに歴史に興味を持ってもらうための体験キットの企画を自分たちで考えました。普段の学校生活ではできないことを体験することができ、とても貴重な経験になりました。」



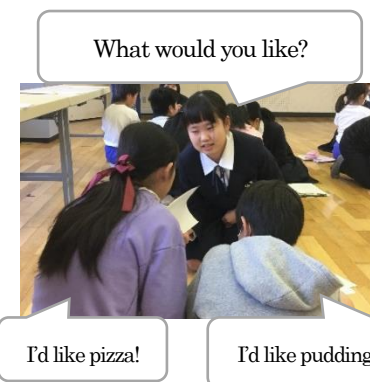
❖ 荘島小学校 英語授業交流 (2年1組英語科 10名)

2月5日(水) 英語科から10名の生徒が近所の荘島小学校の5年生19名を相手に、英語の授業を行いました。この行事は、毎年英語科の2年生が行うもので、高校生にとっても小学生にとっても貴重な経験となっています。小学生が楽しく英語を学ぶことができるよう授業内容を工夫し、45分間終始活発な雰囲気でした。

「小学生の新しい知識を吸収する速さに驚きました。」

また、英語を学ぶ喜びを思い出しました。」(日高寧々)

「元気いっぱいの小学生と一緒に英語を学ぶ中で、英語でコミュニケーションをとるためには、「話そう」という積極的な姿勢が大切だということを再確認しました。」(山川玲奈)





第2学年通信 (第7号)

その2

令和2年3月19日発行
福岡県立久留米高等学校
校長：木本 和宏
第2学年主任：中尾 朋浩

【課外授業について】

今年度の卒業生が合格体験記の中に、課外授業の受講についての考えを載せてくれました。この文章を読み、是非課外授業の選択の際に参考にしてください。

★ ★ ★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ★ ★ ★ ★

～（今年度卒業生の合格体験記より抜粋）～

私は3年生では、課外授業を受講していません。その理由は、教科によっては課外授業を受講するより苦手な分野を自分のペースでやり直したいと思ったから、そして二次試験で必要な科目を集中的に鍛えたいと思ったからです。

1年を通して分かったことは、志望大にあった二次試験の教科の学習はできるが、

○センター試験（共通テスト）で必要な5教科7科目の学力バランスが崩れる。

○一人で勉強し続けることのきつさ。

○苦手科目を逃げ続けることができってしまう。

ということでした。

課外授業なんて意味がない。受けるくらいなら自分でやったほうがましだ。と思う人がいると思います。しかし、一年間受講しなかったことでわかったことは、周りに友人がいて、授業を受けるほうが断然精神的に楽だということです。私は夏休みの講座を受講していなかったため、月末のプレ模試に照準を合わせ、学校ではなく塾に通いつめました。睡眠をしっかりとり、朝5時に起床し、家で勉強したのち、塾に夜までこもり、帰ってからも暗記物などをし、1日平均15時間勉強していました。本気でました。しかし精神的にはかなり追いやられていました。ひたすら毎日自分と向き合い、机に向かい勉強する日々。友人とかかわる時間も少ないのでひたすら自分との戦いでした。プレ模試当日、周りは全員知らない人の会場の中、私は数学の時間、問題が全く解けずペンは動かさず、しかし周りを少し見ればどんどん解答用紙が埋まっていく。私はそれまでの精神的疲労もあり、蕁麻疹が体中に出て、到底試験を受けられる状態ではなくなり、試験室を退出しました。それから試験が怖くなり試験のたびに蕁麻疹が出るのが何度か続きました。本気がゆえに夏は勉強と食事と睡眠で24時間使い果たしていましたが、今思えば当時の精神状態はかなり異常だったと思います。本気で第一志望に受かるために、課外授業を受講しないデメリットはこの精神的な面が一番大きいと感じました。課外授業を受講しなかったら、朝がゆっくりできる。このように思う人もいるでしょう。しかし私はそうは思いません。課外授業を受講しないということは、本気で学習したとしても、周りとの差をつける『チャンス』がほんの少し増えるだけです。気を抜けば志望校合格は確実に遠のきます。今日くらい家でゆっくりして行こう、と考える弱い気持ちがあるのなら課外授業を受講することがベストだと思います。課外授業を受講せず、第一志望に合格するには相当な精神力と体力が必要です。絶対に受かりたい、最後まで逃げない、やり遂げてやる、という本当に強い意志がある人は受講しないことも一つの選択だと思います。この場合、先生のサポートを最大限に生かすことが合格への近道です。

★ ★ ★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ★ ★ ★ ★

この先輩は夏休みまでは課外を受講しませんでした。考え、悩み、その結果その後は課外授業を受講し、最後まで学校で頑張り、第一志望に合格しています。皆さんはどう感じましたか？皆さんにとってのベストの選択を是非本気で考えてみてくださいね。

【3年次コースの特徴】

〈文I〉

国公立大学を3教科で受けることができるということは、それだけ3教科の難易度が増すことにつながります。北九州市立大学を中心に3教科で受験できる国公立大の人気は高く、志願者も多いのが現実です。また、最初から3教科に絞って勉強してきた受験生とは別に、九大・熊大など5教科型の国立大学を狙って勉強してきた受験生が、センター試験で数・理の結果が芳しくなかった場合、3教科型国公立大に転向するケースもあります。

国公立大学は、センター試験受験後、2次試験（個別学力試験）を受けますが、文Iの場合、私立大学の入試と並行して記述力を高める意識を持つことが大切です。2次試験の配点が高い国公立大学も多いので、2次試験科目での学力をしっかりとつけておきたいものです。私立大学については、それぞれの大学毎にいろいろな入試制度がある場合が多いです。まず、自分の第一志望の大学の入試制度を熟知することが必要です。

〈文II〉

少子化の時代にも関わらず、国公立大学への志望者はおおよそ5倍と高倍率である。私立大学に比べて学費が安く、さらに公務員や地元の就職に強い国公立大学は、相変わらず狭き門です。

そのような国公立大学への合格を目標に、6教科8科目の学習へ積極的に取り組むことが必要です。そのためには、一日平均5時間の学習時間を確保すること、そして同時に2次試験にたえうる学力を身につけるべきです。特に、数学に意欲的に取り組んでください。文Iコースと比べて科目数が多い分、今苦手意識のある科目もあるでしょう。克服は容易ではなく、時間がかかります。今のうちから熱心に取り組み、3教科型へ逃げない忍耐力を養っておきましょう。また、2次試験で小論文が課せられる大学も多く、小論文への意欲的取り組みも必須です。こちらも時間を要します。特に3年次の総学の時間は貴重です。報道等で時事問題に関心を持ち、新聞を読んでおきましょう。

〈理系〉

文系と理系の大きな違いは、理系の方が2次の配点が多いことです。そのため2次試験の科目の数学、理科、英語の記述力が重要になります。これは、急に書けるものではありません。毎日、相手に分かる解答を書く癖をつけることや公式などを暗記するのではなく、その過程などをしっかり理解することが必要になります。とにかく教科書の理解を深めることが大事です。2次力がないと、センターA判定でも落ちます。これが理系です。そして理科2科目を学習しながら、数学IIIを学習するのは並大抵なことではありません。夏休みからやろうと思っているなら、考えが甘いです。先輩方もこの膨大な量に苦戦しました。授業をとにかく大事にし、今から家庭学習を徹底的にやるべきです。ここから長い道のりですが、素直で挑戦する心、出来ない自分を受け止め向き合う強い精神力があればD、E判定でも合格できるのが理系です。決して後期まで諦めずに過去問と向き合ってください。最後に、来年度は九州大学を含め推薦入試やAO入試が増える傾向があります。入試制度をもう一度確認してください。これからの時代、色々な力を見られます。とにかく挑戦し、幅広い知識を身につけてください。

裏面に続く

〈看護〉

2025年には日本は4人に1人が75歳以上という超高齢化社会となるので、医療や福祉の需要は増加する方向である(医療福祉の分野では現在も将来も人材不足)。さらに、高度医療やチーム医療などにより医療現場での活動は、より専門性が必要とされ、幅広い知識や技術などが要求される。医療従事者をめざす場合は、志望大学合格を目標にすることだけでは不十分である。国家試験合格後のその先10年後20年後、医療従事者としての活躍を考えて、受験勉強に取り組んでほしい。看護体験などの経験を通して、自分の夢をより確固たるものとしてほしい。小論文対策は毎週セサミの時間に実施はするが、それだけでは不十分である。実際に小論文を書くときには、現代社会の実態や専門的な医療のことを知らないと書けないからである。また、医療従事者としての意識を問う小論文もある。なぜ看護師を志望しているのか、具体的な将来像は何かなどの自分の中にあるものも問われる。これらの対応策として、医療関係の本を読んでほしい。朝読用の本でいいから、せめて1冊は読む。また、新聞を読むことで、最近の医療問題や医療に関する知識が増える。ニュースを見るのもよい。教科の学力以外を小論文で問うのは、医療看護系の大きな特徴である。

【合格した生徒の共通点】

- (1) 授業を一生懸命受けた。
- (2) 人の言葉を謙虚に受け入れた。
- (3) 教科書の内容をきちんと整理した。
- (4) 遅刻・早退・欠席がなく、入試日直前まで登校した。
- (5) 進学目標が明確だった。
- (6) 自分の学習スタイルを作り上げていた。

⇒「起床」・「学習」・「就寝」時間の3点固定で生活リズムができていた。

1年後に笑おう!



【「受験生」になるための4ステップ】

- (1) 「絶対〇〇大に行きたい!」という強いモチベーションを持つ。
- (2) いつまでに何をすべきか、小さな目標をたて、それを一つずつ達成していく。
- (3) あれこれ手を出すのではなく、まずは基礎固めの勉強をする。
- (4) 周囲への感謝の気持ちを忘れず、勉学に励む。



【保護者の皆様へ】

日頃の教育活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願ひ致します。また、委員を引き受けてくださった皆様へ感謝申し上げます。引き続き第3学年でも、積極的なご参加をお待ちしております。

【2年生の最後に】

みなさん、1年間ありがとうございました。



上段左より：向家、永尾、穴見、中尾、千倉、上野、彌永、陣内
下段左より：西峯、村上、畑瀬、佐藤、畠山、島塚

4月、元気な皆さんに逢えるのを楽しみにしています!(2学年職員一同)